

1. 【開催案内】公開シンポジウム「東日本大震災後の10年を見据えて」
2. 【開催案内】公開シンポジウム「AIとIoTが拓く未来の暮らし
： 情報化社会の光と影」
3. 【開催案内】平成30年度共同主催国際会議
「比較法国際アカデミー第20回国際会議」
4. 【開催案内・論文募集】第18回アジア学術会議について（再通知）
5. 【お知らせ】日本学術会議主催学術フォーラム 企画案の募集について

■-----
【開催案内】公開シンポジウム「東日本大震災後の10年を見据えて」
-----■

東日本大震災が発生してから7年が経過しました。

その間、日本学術会議は復興・復旧のための提言や報告を行ってきました。

本シンポジウムでは、日本学術会議社会学委員会 東日本大震災の被害・影響構造と日本社会の再生の道を探る分科会において、報告「多様で持続可能な復興を実現するために—政策課題と社会学の果たすべき役割—」を取りまとめた吉原直樹氏、被災地の大学である東北大学で歴史資料保存の持つ社会的意義を探究している佐藤大介氏、被災地仙台の市長として復興・復旧に取り組んできた奥山恵美子氏を報告者としてお迎えし、日本学術会議、被災地の研究者コミュニティ、被災地自治体の有機的な連携の可能性を探ります。

- ◆主催：日本学術会議第一部、東北地区会議、国立大学法人東北大学
- ◆日時：2018年7月29日（日）13：30～16：45
- ◆会場：東北大学川内南キャンパス文科系総合講義棟2階 法学部第1講義室
- ◆参加費：無料

◆申し込み方法：

当日受付も可能ですが、参加人数把握のため、下記の申込フォームより事前申し込みをお願いします。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/gakujyutsukaigi/form1.html>

◆プログラム：

（ポスターはこちらから↓

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/264-s-0729.pdf>）

○開会挨拶

- ・開催校挨拶
大野 英男（東北大学総長）
- ・日本学術会議東北地区会議代表幹事挨拶
厨川 常元（東北地区会議代表幹事・東北大学大学院医工学研究科長）
- ・日本学術会議第一部部長挨拶
佐藤 岩夫（日本学術会議第一部部長・東京大学社会科学研究所所長）

○講演

1. 吉原 直樹（日本学術会議連携会員、
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授）
「ひとつの復興、いくつもの復興—社会学からのアジェンダ設定に向けて」
2. 佐藤 大介（東北大学災害科学国際研究所 准教授）
「『ふるさとの歴史』を救う意味

—心理社会的支援としての歴史資料保全の可能性—

3. 奥山 恵美子（前仙台市長）

「復旧・復興のプロセスから見た今後の課題—現場の視点から」

○総合討論

司会：佐藤 嘉倫（日本学術会議第一部会員、
東北大学大学院文学研究科 副研究科長）

討論者：町村 敬志（日本学術会議第一部幹事、
一橋大学大学院社会学研究科 教授）

島田 明夫（東北大学公共政策大学院・法学研究科・
災害科学国際研究所 教授）

吉原 直樹、佐藤 大介、奥山 恵美子

○閉会挨拶

三成 美保（日本学術会議副会長・第一部会員、奈良女子大学副学長）

【問い合わせ先】

東北地区会議事務局

（東北大学研究推進部研究推進課 研究総務係）

電話番号：022-217-4840

FAX：022-217-4841

E-mail：kenkyo(@)grp.tohoku.ac.jp

【開催案内】公開シンポジウム「AI と IoT が拓く未来の暮らし
： 情報化社会の光と影」

政府科学技術政策である Society 5.0 で実現を目指す社会では、AI（人工知能）と IoT（Internet of Things）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されると宣言されています。

情報化社会の光に関心が集中する一方、AI や IoT による働き方への影響やセキュリティなどの影も指摘する声もあります。

本シンポジウムでは、AI と IoT に代表される情報技術による社会の変革の見通しを論じ、未来社会構築における学術の貢献について議論します。

◆日本学術会議第三部、東北地区会議、国立大学法人東北大学

◆日時：2018年8月2日（木）13：00～17：40

◆会場：東北大学青葉山東キャンパス工学部中央棟2階大講義室

◆参加費：無料

◆申し込み方法：

当日受付も可能ですが、参加人数把握のため、下記の申込フォームより事前申し込みをお願いします。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/gakujyutsukaigi/form3.html>

◆プログラム：

（ポスターはこちら→<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/263-s-0802.pdf>）

○開会挨拶

開催校挨拶

大野 英男（東北大学総長）

日本学術会議東北地区会議代表幹事挨拶

厨川 常元（東北地区会議代表幹事・東北大学大学院医工学研究科長）

○講演

1. 丸山 宏（Preferred Networks 社 PFN フェロー）

「深層機械学習とその意味するもの」

2. 久世 和資（日本アイ・ビー・エム株式会社 最高技術責任者）
「AI から量子コンピュータまで 先進技術による社会の変革」
3. 堀田 龍也（東北大学大学院情報科学研究科 教授）
「AI/IoT 時代の学校教育のあり方」
4. 山本 雅之（日本学術会議 連携会員
東北大学メディカル・メガバンク機構長）
「東北メディカル・メガバンク計画の目標と進捗状況
ー世界最先端のバイオバンクの構築を目指して」

○総合討論

司会：徳山 豪（日本学術会議第三部 会員、
東北大学大学院情報科学研究科 教授）

討論者：

- 山極 壽一（日本学術会議 会長、京都大学 総長）
土井 美和子（日本学術会議連携会員 国立研究開発法人情報通信研究
機構 監事、奈良先端科学技術大学院大学理事）
丸山 宏、久世 和資、堀田 龍也、山本 雅之

○閉会挨拶

山極 壽一

【問い合わせ先】

東北地区会議事務局

（東北大学研究推進部研究推進課 研究総務係）

研究推進部研究推進課 研究総務係

電話番号：022-217-4840

FAX：022-217-4841

E-mail：kenkyo(@)grp.tohoku.ac.jp

【開催案内】平成 30 年度共同主催国際会議
「比較法国際アカデミー第 20 回国際会議」

会 期：平成 30 年 7 月 22 日（日）～7 月 28 日（土）[7 日間]

場 所：九州大学椎木講堂、福岡国際会議場、福岡大学（福岡県福岡市）

日本学術会議及び比較法国際アカデミー第 20 回国際会議組織委員会が共同主催する「比較法国際アカデミー第 20 回国際会議」が、7 月 22 日（日）より、九州大学椎木講堂、福岡国際会議場、福岡大学で開催されます。

この度の比較法国際アカデミー第 20 回国際会議では、『法学のフロンティア～国際比較と現代的課題』をメインテーマに最先端の課題について、研究発表と討論が行なわれることになっております。

本会議には 75 カ国以上の国と地域から 600 人近くの参加者が見込まれています。

この会議を日本で開催することは、法学界における我が国のプレゼンス・研究水準の高さを改めて国内外に強く印象付ける絶好の機会となるとともに、我が国のこの分野の研究者が世界の多くの研究者と直接交流する機会を与えることとなります。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、7 月 28 日（土）に「ひとり親家庭の貧困～比較法にその解決の糸口を求めて」が開催されることとなっております。

関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただけますようお願いいたします。

共催：日本学術会議

市民公開講座

「ひとり親家庭の貧困～比較法にその解決の糸口を求めて」

日 時：平成 30 年 7 月 28 日（土）14:00～15:00

会 場：福岡大学医学部 y

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ

(<http://www.congre.co.jp/iacl2018/html/schedule/schedule.html>)

○市民公開講座案内

(<http://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/pdf/180728.pdf>)

【問合せ先】日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当

(Tel : 03-3403-5731、Mail : i254@scj.go.jp)

■----- 【開催案内・論文募集】第 18 回アジア学術会議について（再通知） -----■

日本学術会議会員、連携会員及び協力学術研究団体各位

第 18 回アジア学術会議 開催案内について（FIRST CIRCULAR の公表）

アジア学術会議事務局長
吉野 博

先日ニュースメールでお知らせしました、第 18 回アジア学術会議の再通知です。
論文募集の詳細については以下をご覧ください。

・第 18 回アジア学術会議専用サイト

<http://www.mediatelier.com/sca18/>

・FIRST ANNOUNCEMENT and CALL FOR PAPERS

https://sca18.mediatelier.com/pdf/180622_first-announcement.pdf

・問い合わせ先（会議運営事業者 株式会社メディアアトリエ内）

Email: sca18@mediatelier.com

Tel : 03-5469-5591

Fax : 03-5469-5592

■趣 旨

第 18 回アジア学術会議（SCA）を 2018 年 12 月 5 日（水）から 12 月 7 日（金）の間、
以下をテーマとして日本学術会議において開催します。

アジア学術会議の日本開催は 2007 年以來の 11 年振りとなります。

日本学術会議会員、連携会員及び協力学術研究団体の皆様のご理解とご協力を
賜りますようお願い致します。

社会のための科学：アジアにおける SDGs の達成に向けた戦略

（“Role of Science for Society: Strategies towards SDGs in Asia ”）

■第 18 回アジア学術会議

日 程：2018 年 12 月 5 日～12 月 7 日

会 場：日本学術会議（東京都港区六本木 7-22-34）

主 催：日本学術会議

■スケジュール

2018 年 7 月 17 日：論文要旨（Abstract）提出期限

2018年8月31日： 審査結果通知 (Notification of Acceptance of Paper)

2018年10月15日： 論文全文 (Full Paper) 提出期限

2018年11月12日： プレゼン資料 (presentation material) 提出期限

■使用言語 英語

■ (論文募集テーマ)

Topics of the conference will include, but are not limited to the following:

1. Energy, Natural Resources and Built Environment (SDGs 7,11,12)
 - Access to affordable, reliable and sustainable energy
 - Sustainable management and efficient use of natural resources
 - Smart cities and zero energy buildings
2. Aging Society, Health and Medical Care (SDGs 3)
and affordable essential medicines and vaccines for all
 - Access to quality essential health-care services
 - End preventable deaths of newborns and children
 - Healthy city and housing
 - Inclusive design and technology for physically handicapped people
3. Biodiversity and Sustainable Use of Biological Resources (SDGs 14,15)
 - Sustainable use of the oceans, seas and marine resources
 - Sustainable use of terrestrial and freshwater ecosystems
 - Fair and equitable sharing of the benefits from the utilization of genetic resources
4. Cities, History and Cultural Heritage (SDGs 11)
 - Access for all to adequate, safe and affordable housing and basic services and upgrade slums
 - Protect and safeguard the world's cultural heritage
 - Adverse environmental impact of cities
5. Disaster Risk Reduction (SDGs 9,11,13)
 - Reliable, sustainable and resilient infrastructure
 - Strengthen resilience and adaptive capacity to climate-related hazards and natural disasters
6. Gender (SDGs 5)
 - Ensure women's full and effective participation and equal opportunities for leadership
 - Reforms to give women equal rights to economic resources
7. Poverty, Inequalities and Immigrants (SDGs 1,10)
 - Ensure the equal rights to economic resources for the poor and the vulnerable
 - Build the resilience of the poor and reduce their exposure and vulnerability to climate-related extreme events and other economic, social and environmental shocks and disasters
 - Facilitate orderly, safe, regular and responsible migration and mobility of people
8. Education (SDGs 4)
 - Ensure that all girls and boys complete free, equitable and quality primary and secondary education
 - Gender disparities in education
 - Ensure that all learners acquire the knowledge and skills needed to promote sustainable development

9. Economy (SDGs 8)

- ・ Economic productivity through diversification, technological upgrading and innovation
- ・ Decent work for all women and men
- ・ Labour rights and safe and secure working environments for all workers, including migrant workers

10. Water and Food (SDGs 2, 6)

- ・ Universal and equitable access to safe and affordable drinking water for all
- ・ Access to adequate and equitable sanitation and hygiene for all
- ・ Sustainable agriculture

受領したアブストラクトにつきましては、慎重に審査し、発表するに相応しいと判断されたアブストラクトについては採用通知を8月31日までに送ります。

■ 【お知らせ】 日本学術会議主催学術フォーラム 企画案の募集について

■

会員、連携会員の皆様へ

現在、日本学術会議主催学術フォーラムの企画案を募集しています。
関心のある方は以下をご確認いただき、手続きの上、お申込みください。

第3 四半期追加募集分

開催予定時期 : 平成30年11月～12月
申込み締切 : 平成30年7月31日(火)

第4 四半期募集分

開催予定時期 : 平成31年1月～3月
申込み締切 : 平成30年8月22日(水)

- ・ 必要書類・手続き等 : 以下のURLをご確認ください。
<http://www.scj.go.jp/ja/scj/kisoku/106.pdf>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから
http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。
本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行 : 日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34